

問1 コートジボワールなどのアフリカ諸国では、カカオ豆のように特定の農産物や鉱産資源の輸出に経済が強く依存している状況が見られます。このような経済の仕組みの名称と、それが抱える課題についての説明として正しいものを次の中から選びなさい。（2024年 三重公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済と呼ばれ、干ばつなどの自然災害や国際価格の変動が国の財政に大きな影響を与えてしまう。
2. 世界の工場と呼ばれ、安価な労働力を背景に工業製品を大量に輸出するが、都市部での深刻な環境汚染が課題となっている。
3. アパルトヘイトと呼ばれ、特定の人種を優遇する政策によって国内の経済格差が広がり、国際的な非難を受ける要因となっている。
4. ヒन्दゥー教徒の沐浴のように、特定の宗教的慣習に基づく観光資源に依存しているため、伝統文化の維持と開発の両立が課題となっている。

問2 アフリカ州のナイジェリアにおける輸出品目の構成について述べた次の文の空欄にあてはまる、同国の経済を支える主要な鉱産資源を答えなさい。「ナイジェリアの輸出統計において、輸出総額の約82.3%という圧倒的な割合を占めているのが（ ）であり、これに次いで液化天然ガスが約9.9%となっている。」（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 原油
2. 綿花
3. コーヒー
4. ダイヤモンド

問3 プランテーション農業が現在のアフリカの国々に与えている経済的・社会的な影響について、その成り立ちと特徴を踏まえた説明として正しいものはどれか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 輸出用の特定の商品作物を大規模に生産するため、国際価格の下落が国家財政に深刻な影響を及ぼす可能性がある。
2. 大規模な灌漑設備を整えて小麦やとうもろこしを生産するため、アフリカ全域で穀物の自給が可能になった。
3. 熱帯の密林を焼き払い、灰を肥料として多様な作物を等しく栽培するため、自然環境と経済が高度に両立している。
4. 宗主国の資本が入ることで、現地の農家が自分の土地で多種類の野菜を自由に栽培できる環境が古くから整っている。

問4 アフリカの産業構造の変化や、地域統合の動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. アフリカ諸国が結成したAUは、政治的・経済的な統合を強め、地域内の紛争解決や発展を自らの手で進めることを目指している。
2. モノカルチャー経済から脱却するため、すべての国が共通通貨を導入し、工業製品の輸出額が一次産品を上回るようになった。
3. APECに加盟することで、アフリカ大陸全体で関税を撤廃し、北米諸国との自由貿易を最優先で進める方針をとっている。
4. かつての宗主国との関係を断絶するため、EUのような広域経済圏には参加せず、一国主義による経済開発を継続している。

問5 アフリカ大陸の北西端に位置するモロッコにおいて、タコ漁が盛んになり、遠く離れた日本への輸出が拡大した背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 沿岸を流れる寒流の影響で好漁場となっており、冷凍技術の向上によって鮮度を保ったままの輸送が可能になったため。
2. 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響でプランクトンが豊富であり、古くから国内でタコを食べる食習慣が根付いていたため。
3. マングローブ林が広がる海岸部で養殖技術が発達し、国内消費だけでは余剰が出るほどの生産量を確保できたため。
4. 地中海沿岸の乾燥した気候を利用した天日干しの技術が普及し、保存のきく乾燥タコが日本の需要と一致したため。

問6 エジプトの宗教構成や文化について、日曜日に教会へ行く習慣を持つキリスト教と比較した場合、エジプトでより多くの人々が実践しているイスラム教の生活習慣を説明したものとして正しいものはどれか。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 1日に5回、聖地に向かって礼拝を行い、ラマダンと呼ばれる期間に断食を行う。
2. 牛を神聖な動物として大切にし、その肉を食べることを避けて生活する。
3. 特定の聖地を持たず、一日の始まりに瞑想を行うことで精神を統一する。
4. 輪廻転生の考えに基づき、殺生を禁じて厳しい修行に励むことを義務とする。

問7 アフリカの国々で見られるプランテーションと呼ばれる農園について、その歴史的背景や産業上の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2016年 三重公立入試 類似）

1. かつての植民地支配のもとで、特定の農作物を輸出するために大規模に開発された農園である。
2. 独立後の食料不足を解消するために、自国消費用の穀物を育てることを主目的とした小規模な農地である。
3. 森林を焼き、その灰を肥料として利用しながら数年ごとに栽培場所を移動する伝統的な農業形態である。
4. 大都市の周辺に位置し、新鮮な野菜や果物を消費地に向けて効率的に生産・供給する農業である。

答え合わせ・解説

-
- 問1** **答え 1**
モノカルチャー経済と呼ばれ、干ばつなどの自然災害や国際価格の変動が国の財政に大きな影響を与えてしまう。
- 特定の限られた一次製品の輸出に頼る経済体制をモノカルチャー経済と呼びます。この体制は、作物の豊凶や、先進国の消費動向に左右される国際市場価格の変化によって国の収入が激しく増減するため、安定した経済成長を妨げる要因となります。コートジボワールではカカオ豆への依存度が非常に高いため、産業の多角化が重要な課題となっています。
-
- 問2** **答え 1**
原油
- ナイジェリアはアフリカ最大の人口を抱える国であり、ギニア湾沿岸で産出されるエネルギー資源の輸出に大きく依存しています。輸出額の8割以上を占める原油と、それに続く液化天然ガスなどの化石燃料が、同国の外貨獲得の柱となっています。
-
- 問3** **答え 1**
輸出用の特定の商品作物を大規模に生産するため、国際価格の下落が国家財政に深刻な影響を及ぼす可能性がある。
- プランテーション農業は、植民地時代に輸出用として最適化された仕組みであるため、独立後も特定の製品の輸出に頼らざるを得ない「モノカルチャー経済」と深く結びついています。これにより、その作物の国際的な需要が減ったり、豊作・不作による価格変動が起きたりすると、国全体の経済が不安定になるというリスクを抱えています。
-
- 問4** **答え 1**
アフリカ諸国が結成したAUは、政治的・経済的な統合を強め、地域内の紛争解決や発展を自らの手で進めることを目指している。
- アフリカ連合（AU）は、アフリカ諸国がかつての植民地支配の影響や、特定の産品に頼る経済構造（モノカルチャー経済）、そして頻発する紛争といった課題を解決するために結成されました。他地域の勢力に依存するのではなく、アフリカ自らの手で平和の構築や経済成長を促進する「地域統合」の枠組みであることが大きな特徴です。共通通貨などの構想はありますが、現時点で全加盟国への導入は実現しておらず、課題も多く残っています。
-
- 問5** **答え 1**
沿岸を流れる寒流の影響で好漁場となっており、冷凍技術の向上によって鮮度を保ったままの輸送が可能になったため。
- アフリカ北西部の沿岸にはカナリア海流という寒流が流れており、タコの好漁場となっています。モロッコ国内ではタコを食べる習慣はほとんどありませんが、冷凍技術が発達したことで、日本の需要に応えるための重要な輸出産業として発展しました。エビの養殖などは東南アジアなどで見られる特徴であり、モロッコの事例とは異なります。
-
- 問6** **答え 1**
1日に5回、聖地に向かって礼拝を行い、ラマダンと呼ばれる期間に断食を行う。
- エジプトの宗教別人口割合を記した統計資料などでは、キリスト教徒が少数ながら存在することも示されますが、圧倒的多数を占めるのはイスラム教です。イスラム教では、信仰の証として聖地への礼拝や断食といった具体的な行動が生活上の細かな決まりとして定められており、これが地域の文化的な特色となっています。
-
- 問7** **答え 1**
かつての植民地支配のもとで、特定の農作物を輸出するために大規模に開発された農園である。
- プランテーションは、植民地時代に支配国が自国への輸出を目的に、安価な労働力を使ってカカオやコーヒーなどの「商品作物」を大量生産するために作った仕組みです。このように特定の農産物や資源の輸出に頼る経済構造は「モノカルチャー経済」と呼ばれ、国際価格の変動によって国の経済が不安定になりやすいという課題を抱えています。
-